

地震災害などの備え 3



被災して家族がはなればなれになつた時、お互いの安否の確認手段を考えておくことが大切です。被災地では、連絡手段が限られていますので、公衆電話等から利用できるNTTの「災害用伝言ダイヤル171」や携帯電話の「災害用伝言板」などのサービスがあるので活用方法を知つておきましょう。

災害時以外にも、毎月1日（1月1日を除く）などには体験利用ができます。

NTT災害用伝言ダイヤル「171」

地震等の災害発生時に、NTTの「災害用伝言ダイヤル」により家族等に自分の安否を伝える（又は家族等の安否を確認する）ことができます。

被災者の方が録音した安否情報などを、全国に設置された「災害用伝言ダイヤルセンター」を通じて確認することができます。



録音/再生のダイヤル方法

- ① 171をダイヤル
- ② 録音は 1 再生は 2 をダイヤル
- ③ 0××-△△△-□□□□
 - ・被災地の方は自宅の電話番号を
 - ・被災地外の方は被災地の方の電話番号をいずれも市外局番からダイヤルしてください。
- ④ ガイダンスに従い録音・再生してください。

録音時間/1伝言30秒以内

※利用にあたっての契約等は一切不用です。

※震害時以外にも、毎月1日（1月1日を除く）、防災週間（9月）、防災とボランティア週間（1月）に体験利用ができます。

携帯電話による災害用伝言板



携帯電話でも安否確認ができる災害用伝言板サービスがあります。

地震等の災害発生時に、被災地の安否情報を災害用伝言板に登録し、登録された伝言は携帯電話やパソコンから見ることができます。

※サービスの詳細は各携帯会社へご確認ください。

171

ちょっと待つて！ 知つてください。
あなたの「かけない」が被災地
を救うこと。

地震などの災害が発生した場合、被災地の親戚や友達にお見舞い電話が殺到します。それによって、人命にかかる連絡をつなぎにくくしているかもしないのです。こんな時は携帯電話を控えることが大切です。ご協力を願っています。「災害用伝言板」などを利用しましょう。

これはNTTドコモのお手伝いにより行われ、全2回、延べ30人が参加しました。講習会では、携帯電話を利用して「災害用伝言板」の登録の仕方、家族や友人の安否情報の確認方法を学習しました。



ケータイ講習会

話題満載

めでたし満100歳になられました



おめでとう 小林もりさん

おめでとう 望月つねさん

9月10日 特別養護老人ホーム慈生園に入所中の徳間区下村、望月つねさん（明治41年9月10日生）が、めでたしく満100歳になりました。当日は、町・社会福祉協議会の関係者がお宅を訪問して記念品と花束を贈呈しました。家族・親戚に囲まれ、とても幸せそうなもりさんご希望町長が、「もりさんは、絶対に100歳の誕生日を迎えると思っていた。ご家族の気遣いにも敬意を表します。」と、お祝いのあいさつをしました。また、息子の福雄さんが「これから101、102歳と自由に思うままに生活してほしい。」と、暖かく声をかけ、もりさんも幸せそうな表情で小さくうなづいていました。



9月23日 向田区向田にお住まいの小林もりさん（明治41年9月23日）が、めでたく満100歳になりました。当日は、町・社会福祉協議会の関係者がお宅を訪問して記念品と花束を贈呈しました。家族・親戚に囲まれ、とても幸せそうなもりさんご希望町長が、「もりさんは、絶対に100歳の誕生日を迎えると思っていた。ご家族の気遣いにも敬意を表します。」と、お祝いのあいさつをしました。また、息子の福雄さんが「これから101、102歳と自由に思うままに生活してほしい。」と、暖かく声をかけ、もりさんも幸せそうな表情で小さくうなづいていました。



中学生弁論大会 への願い 心に響け！

大会では、管内中学校の代表者が気持ちの入った発表を披露し、審査の結果、交通の部で万沢中1年生の望月文乃さん、防犯の部で南部中3年生の近藤葉月さんがそれぞれ最優秀賞に選ばれました。

文乃さんの「心につかぬ信号機」は、「過信などで誰でも危険と隣り合わせ」で、自分が身である。自分自身に信号機をつけ、心の制御を確実に」と呼びかけました。また、葉月さんの発表では、「じつせんにて未来の可能性を否定しないで、諦めずに先に進む。自分を大切に思ってくれる人とともに強く生きる。強い心でありたい。」と、強く願う「簡単に命を捨てない」という発表でした。おめでとうございました。

食生活 メモ

味覚をはじめ「JJ食」ついで？

弧食 ↓ 家族不在の食卓で一人で食べるのを食べる。自分の好きな決まったものしか食べない

固食 ↓ 自分の好きな決まったものしか食べない

小食 ↓ いつも食欲がなく、食べる量が少ない

粉食 ↓ パンやパスタなどの粉を使った主食ばかりたべる

小食 ↓ どれも子供や若年層の偏った食生活を特徴的にとらえた言葉です。このようない傾向が長く続ければ、栄養のかたよりが生じ、亜鉛の摂取不足に陥ることがあります。亜鉛不足は味覚障害の主な原因となっています。食事は命の源。『ストップー！食』

秋の味覚 EPA・DHAを多く含む「さんま」

さんまは昔から日本人に好んで食べられる魚です。魚にはたんぱく質、カルシウム、鉄をはじめさまざまな栄養成分が含まれていますが、さんまは、特に生活习惯病の予防に役立つEPA（イコサペニタイン酸）やDHA（ドコサヘキサエン酸）が多く含まれています。EPAは血液をサラサラに保つ効果があり、DHAは脳細胞を活性化する効果があります。調理する時にはなるべく脂を逃がさないようにがおすすしく、また栄養成分を保つことがあります。

焼き魚には、消化酵素を含む大根やゆずと一緒に山椒などによじます。カロテンの多い緑黄色野菜やビタミンEの多い植物油や種実類と一緒にじるとより効果的です。

山梨県栄養士会